

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第16週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 8 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：報告なし。5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	女	肺結核	咳、発熱、胸痛
			70歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	発熱
			80歳代	男	無症状病原体保有者	—
		都城	70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		日南	90歳代	女	疑似症患者	発熱、CT所見(両肺斑状影・結節影の増悪、空洞形成)
		日向	40歳代	女	肺結核	咳、倦怠感
			50歳代	男	肺結核	症状なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	O血清群不明(VT1、2産生)

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,122人(定点当たり30.2)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

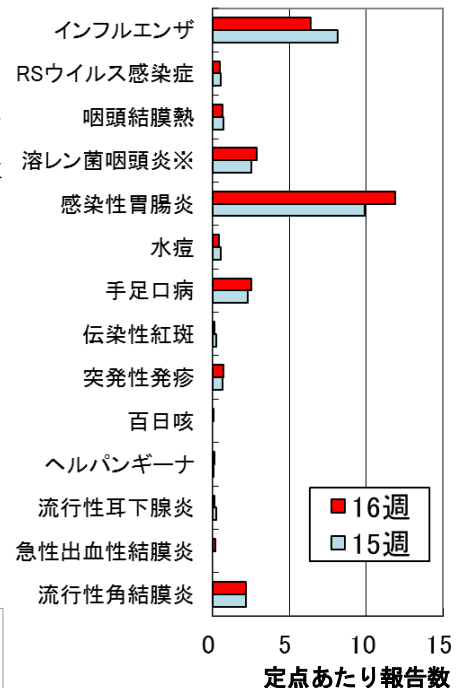
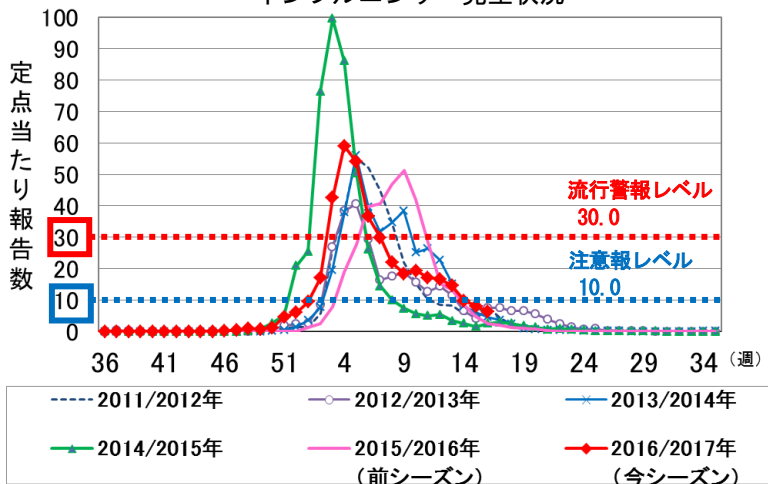
《前週との比較》

#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

報告数は378人(6.4)で、前週比79%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(4.6)の約1.4倍である。小林(25.4)、日南(9.4)、中央(7.5)保健所からの報告が多く、年齢別は5~9歳が全体の約4割を占めた。

インフルエンザ 発生状況



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

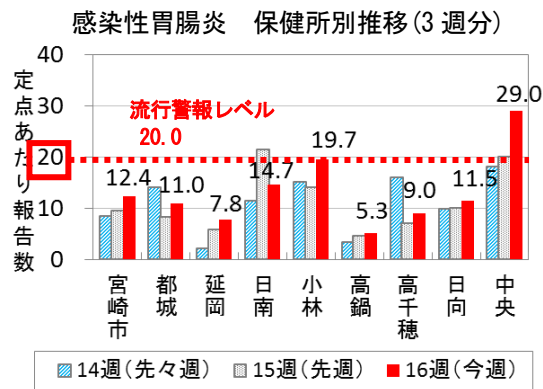
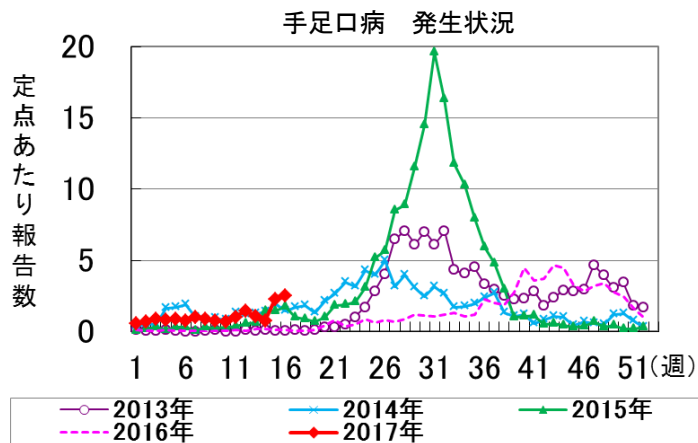
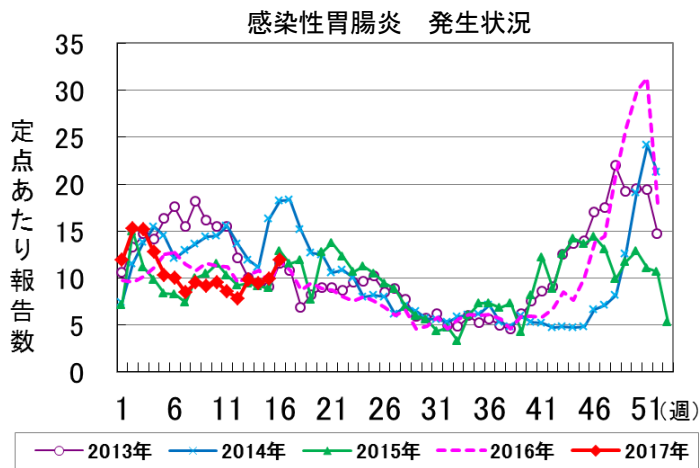
##### 【感染性胃腸炎】

報告数は429人(11.9)で、前週比120%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値\*(13.1)の約0.9倍である。中央(29.0)、小林(19.7)、日南(14.7)保健所からの報告が多く、年齢別は1~4歳が全体の約半数を占めた。

##### 【手足口病】

報告数は91人(2.5)で、前週比111%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.67)の約3.8倍である。都城(8.0)、小林(5.7)、中央(3.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス):宮崎市(7例)、日向(2例)保健所から報告があり、0~4歳が7例、5~9歳、10歳代が各1例であった。なお、病原体の群別は不明であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	手足口病(8.0)
延岡	なし
日南	なし
小林	インフルエンザ(25.4)、手足口病(5.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	感染性胃腸炎(29.0)

※流行警報レベル開始基準値※

・感染性胃腸炎(20.0)  
・手足口病(5.0)

※流行注意報レベル基準値※

・インフルエンザ(10.0)

□病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成29年4月24日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Neisseria meningitidis</i>	20歳代	男	2017.03.11	発熱(39.2℃)、血尿、腰部痛	尿	2017.04.24
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4歳	男	2017.04.10	肺炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2017.04.24

○20代後半男性の尿から髄膜炎菌(*Neisseria meningitidis*)が検出された。今回の事例では、送付された菌株が継代できなかつたため、国立感染症研究所のマニュアルに基づき遺伝子検査を行い、血清群不明の髄膜炎菌を検出した。(髄膜炎菌は死滅しやすいため、当所から菌株を送付する場合には、新鮮分離株を血液寒天培地に1晩培養し、室温で3日以内に送付することになっている。)

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状	材料	検出日
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.04.14	マイコプラズマ肺炎疑い、発熱、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.04.18
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.04.07	肺炎、39.0℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2017.04.18
ライノウイルス	0~4歳	女	2017.04.10	急性気管支炎、38.7℃、上気道炎(咽頭炎)、下気道炎(気管支炎)	鼻汁	2017.04.18
ライノウイルス	0~4歳	男	2017.04.05	喘息様気管支炎、38.0℃、上気道炎	鼻汁吸引液	2017.04.13
ヒトメタニューモウイルス	0~4歳	女	2017.04.11	集団かぜ、喘息様気管支炎、40.0℃、下気道炎(気管支炎)、咳(ヒューヒュー)、鼻水	咽頭ぬぐい液	2017.04.18
パラインフルエンザウイルス1型	0~4歳	女	2017.04.13	集団かぜ(家族内)、39.5℃	咽頭ぬぐい液	2017.04.13
コクサッキーウイルスA6型	0~4歳	男	2017.02.23	手足口病、38.8℃、発疹	咽頭ぬぐい液	2017.04.12

○呼吸器症状のある乳幼児4名からライノウイルスが検出された。大人の風邪の2分の1から3分の1はライノウイルスが原因とされており、通常、1～2週間で軽快するが、乳幼児や高齢者、基礎疾患を持つ人が感染した場合は重症化する可能性もある。今回、ライノウイルスが検出された4名はいずれも乳幼児で、肺炎や気管支炎を起こしていた。ライノウイルスによる呼吸器感染症は年間を通じてみられるが、春と秋に多くなる傾向にあり、今後の動向に注意が必要である。

○手足口病と診断された幼児1名からコクサッキーウイルスA6型が検出された。近年のコクサッキーウイルスA6型による手足口病は、発疹出現部位が従来とは異なったり、手足口病を発症してから数週間後に爪脱落が起きたりする症例が報告されている（IASR：Vol.32 No.8,11 2011）。

## 🇯🇵 全国 2017 年第 15 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第15週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	357例				
3類感染症	細菌性赤痢	3例	腸管出血性大腸菌感染症	30例	腸チフス	1例
	E型肝炎	7例	A型肝炎	5例	エキノコックス症	1例
4類感染症	つつが虫病	1例	デング熱	1例	日本紅斑熱	2例
	レジオネラ症	14例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10例
	急性脳炎	8例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12例
	後天性免疫不全症候群	18例	ジアルジア症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6例
	侵襲性肺炎球菌感染症	51例	水痘（入院例）	2例	梅毒	63例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	風しん	1例	麻しん	10例		

麻しんの報告数は10例で、第1週から第15週までの累積報告数は139例となった。山形県、東京都（各3例）、大阪府（2例）、石川県、島根県（各1例）から報告があり、第1週から第15週までの累積報告数は、山形県（50例）、三重県（20例）、東京都（16例）が多い。年齢別では20歳代、30歳代が4例ずつ、10歳代、40歳代が1例ずつであった。

### □ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比98%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は感染性胃腸炎と手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘である。

RSウイルス感染症の報告数は817人(0.26)で前週比130%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.19)の約1.4倍である。沖縄県(1.9)、奈良県(1.1)、鹿児島県(0.91)からの報告が多く、年齢別では1歳以下が全体の約8割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

●次回の感染症週報は祝日の関係上、5月11日発出となります。  
ご了承ください。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2017年 第16週(4月17日～4月23日)

疾病名		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	480	378	84	46	23	47	127	24	2	10	15
	定点あたり	8.14	6.41	5.25	4.60	3.29	9.40	25.40	4.00	1.00	1.67	7.50
RSウイルス 感染症	報告数	19	18	7	4	5	1	1				
	定点あたり	0.53	0.50	0.70	0.67	1.25	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	26	23	11	3	1	5	3				
	定点あたり	0.72	0.64	1.10	0.50	0.25	1.67	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	91	103	50	11	5	9	8	13	1	4	2
	定点あたり	2.53	2.86	5.00	1.83	1.25	3.00	2.67	3.25	1.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	357	429	124	66	31	44	59	21	9	46	29
	定点あたり	9.92	11.92	12.40	11.00	7.75	14.67	19.67	5.25	9.00	11.50	29.00
水痘	報告数	20	15	1	9	2			2		1	
	定点あたり	0.56	0.42	0.10	1.50	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	82	91	17	48	2	3	17	1			3
	定点あたり	2.28	2.53	1.70	8.00	0.50	1.00	5.67	0.25	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	9	5	2		3						
	定点あたり	0.25	0.14	0.20	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	24	27	9	1	9	3	2	1		2	
	定点あたり	0.67	0.75	0.90	0.17	2.25	1.00	0.67	0.25	0.00	0.50	0.00
百日咳	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	6		2			3			1	
	定点あたり	0.08	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	9	5			1		1	2			1
	定点あたり	0.25	0.14	0.00	0.00	0.25	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.20	0.50	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	11	11	8	3							
	定点あたり	2.20	2.20	4.00	1.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	8	9	7							2	
	定点あたり	1.14	1.29	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		2.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:5、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2017年第1週～16週)

2類感染症	結核	74例(8)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2例(1)				
4類感染症	E型肝炎	2例	つつが虫病	6例	レジオネラ症	2例
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
5類感染症	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	5例	破傷風	1例

( )内は今週届出分、再掲